

# News Release

2017年8月8日

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

## 日立ハイテク装置向け IoT サービスポータル「ExTOPE」を開発

ー装置が出力するデータをクラウド上で共有・活用ー

株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：宮崎 正啓／以下、日立ハイテク）は、このたび、日立ハイテクが提供する装置向けの IoT サービスポータル「ExTOPE（エクストープ）」を開発しました。「ExTOPE」は、計測データや装置稼働データをクラウド上で収集・蓄積・管理を行うとともに、お客様におけるデータの共有や分析などに活用いただける Web ポータルを提供し、業務効率向上をサポートします。

日立ハイテクは、電子顕微鏡などの分析機器をはじめ、半導体製造装置、製造・検査装置、計測制御システムなど幅広い分野で装置を提供しています。今般、IoT や AI などの技術の進歩に伴い、研究開発や製造の現場において装置やセンサーから得られたデータを収集し、分析・解析を行うことで、業務効率向上や新たな価値創出を実現することが期待されています。このことから、異なる装置・異なる場所で計測したデータでも環境を問わず閲覧・共有・活用が簡単にできる新たな仕組みの整備が必要であり、装置データの収集や蓄積、管理を行い、遠隔地間においてもタイムリーかつ効率的にデータの解析・分析ができる統合環境の構築がお客様より求められています。

「ExTOPE」は、日立ハイテクが提供する各装置が出力するさまざまなデータをクラウド環境で収集し、一元管理するとともに、データ活用のためのポータルを提供します。ポータルでは、計測データ閲覧、装置の状況のモニタリング、遠隔地間での装置操作画面共有などが可能なほか、今後さらに遠隔保守やデータ分析など、多様なニーズに対応するアプリケーションを提供してまいります。

これにより、遠隔地でのデータ分析や解析結果の閲覧、データ共有などの共同作業を可能にし、日立ハイテクが有する最先端の各種装置を「ExTOPE」とともに提供することで、お客様における業務効率向上をはじめ、新たな価値創出に貢献します。

今後もハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップをめざすとともに、最先端・最前線の事業創造企業としてお客様視点に立ち、顧客および市場のニーズにスピーディーに対応してまいります。



(図 1. 計測データ閲覧)



(図 2. 遠隔監視)



(図 3. アプリケーション基盤)

■お問い合わせ先  
サービス・ソリューション事業推進本部  
IoT ビジネスセンタ  
担当：松井、清水 TEL: 03-3504-7186

■報道機関お問い合わせ先  
CSR 本部  
CSR・コーポレートコミュニケーション部  
担当：佐野、佐藤 TEL : 03-3504-3933